

上水・下水

活躍できる主な試験区分

土木 建築 機械 電気 応用化学

○上下水道事業は、大正時代に始まり、市域の拡大や都市の発展とともに事業を拡大し、これまで100年以上にわたり、ライフラインとして市民生活や社会活動を支え、健全な水環境の創出や大雨による浸水被害から市民の生命・財産を守る取り組みを進めてきています。

○「安心・安全で安定した上下水道サービス」の提供をし続けるため、浄水場・水処理センター・ポンプ所や配水管・下水管などの上下水道施設の適切な維持管理や、南海トラフ巨大地震などの災害への備え、環境保全の取り組みなど、様々な事業に取り組んでいます。



本市初の浄水場である鍋屋上野浄水場



配水管の工事

上下水道局技術本部計画部下水道計画課計画第一係 技師

滝本 直啓

水処理センターに高度処理を導入
環境保全に取り組む

●現在の仕事について教えてください。

下水道計画課計画第一係は、下水道事業の計画に関わる業務を行っています。

私は、下水の高度処理に関わる業務を担当しています。下水の高度処理とは、水環境の向上を図るために、河川などの水質悪化の原因となるリンなどを普通の処理よりも多く取り除く処理方法です。また過去には、水質管理課や柴田水処理センターで水質分析などを担当しました。水処理センターでは、家庭や工場などから出る下水を処理し、きれいな水にして川に戻しています。水処理センターの処理の状況を水質分析により確認し、分析結果を基に運転管理を行ってきました。下水処理に関わる業務は、環境保全のために欠かせない業務であり、誇りを持って取り組んでいます。

●職場の雰囲気について教えてください。

上下水道局には様々な職種の職員があり、業務内容も多岐に渡ります。幅広い業務を経験することで、多くの知識と経験が得られます。また、職場には日頃から意見を言い合える雰囲気があります。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

名古屋市の技術職の魅力は、事業規模が大きく多くの市民に関わる業務ができることや、多様な業務に関わることができることです。また、福利厚生制度によって、ワークライフバランスを大切にして働くことができるのも魅力です。



経歴
2010年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 水質管理課 水質企画係
2013年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 鍋屋上野浄水場 水質係
2016年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 水質管理課 水質管理第二係
2019年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 東部柴田水処理事務所 処理第一係
2020年4月～ 上下水道局 技術本部 計画部 下水道計画課 計画第一係



機械



上下水道局技術本部計画部技術管理課 主査

向井 太志

上下水道施設の検査員
高い技術力で市民生活を支える

●現在の仕事について教えてください。

私は、検査員として、浄水場や水処理センターなどの設備工事が仕様どおりに行われたか検査しており、エアコンなどの小さな機器から巨大なポンプに関する工事まで、年間80件程度を担当しています。

印象に残っているのは、DBO方式(Design Build and Operate)を採用した空見スラッジリサイクルセンター下水汚泥燃料化事業の建設工事に検査員として携わったことです。DBOとは、民間業者に設計、施工、維持管理などを一括して委託する方式で、上下水道局で初めてのことでした。局内に経験者が誰もおらず、検査のために必要な書類の数も膨大であったため、前例のない仕事は大変でしたが非常にやりがいがありました。

●職場の雰囲気について教えてください。

職場には、土木・建築・機械・電気など様々な知識を備えた技術者がいて、意見を交わすことも多く、刺激を受ける毎日です。相談や頼み事もしやすい環境で安心して働ける職場です。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

日本下水道事業団に派遣されていた頃、名古屋市上下水道局と仕事をする機会がありました。機器の仕様や工事の施工方法に関する鋭い質問があり、外の立場から改めて名古屋市の技術力の高さを再認識しました。名古屋市には専門的な知識を備えた技術者が多数おり、学んだ知識を存分に活かして活躍できる仕事があります。



経歴
2009年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 施設整備課 機械整備係
2013年4月～ 上下水道局 技術本部 施設部 中部山崎水処理事務所 処理第一係
2016年4月～ 上下水道局 技術本部 建設部 施設課 機械係
2017年4月～ 地方共同法人 日本下水道事業団(派遣)
2018年4月～ 上下水道局付主査 地方共同法人 日本下水道事業団(派遣)
2020年4月～ 上下水道局 技術本部 計画部 技術管理課 主査(検査・監理指導)



上下水道局技術本部管路部設計第一課設計第三係 技師

山田 文希

水道管工事を設計
人々の新しい生活圏をつくる

●現在の仕事について教えてください。

設計第一課は、管網整備事業や都市計画事業などに伴って必要となる水道管工事の設計業務を行っています。

私は、ささしまライブ24などの土地地区画整理事業を担当しており、新しい道路やまちの機能に合わせて上下水道・ガス・電気などのインフラ事業者と調整しながら水道管を整備する工事の設計を行っています。設計業務と聞くと黙々とパソコンに向かっているイメージがあるかもしれませんのが、複数の事業者や施工担当部署と工程や工法について協議するなど、人との関わりが多い仕事です。みんなで協力して大きなパズルを組み立てていくような感覚があり、何もなかった場所が人々の生活圏へと変わっていく様子を見るのはうれしく感じます。

●職場の雰囲気について教えてください。

職員の年齢が近いこともあり、和気あいあいとした雰囲気です。上司や同僚と積極的に意見を交わし、知識やアイデアを吸収しながらより良い設計になるよう努めています。

●技術区分で受験を考えている方へメッセージをお願いします。

土木職員は上下水道局内にも多くの配属先があり、業務内容も多岐に渡ります。異動先によって様々な角度から上下水道事業に携わることができ、常に新しい発見があります。「命の水」と表現されることもある水道水は、人々の生活に直結するインフラ。それを支えている実感が得られる、とてもやりがいのある仕事です。



経歴
2013年4月～ 上下水道局 技術本部 管路部 西部管路センター 配水工事係
2015年4月～ 上下水道局 技術本部 管路部 西部管路センター 配水維持係
2016年4月～ 上下水道局 経営本部 営業部 中村営業所 工事係
2019年4月～ 上下水道局 技術本部 管路部 設計第一課 設計第三係



応用化学